

「痛みとつらさのスクリーニング」が
「がん診療拠点病院の要件」
 になりました

今年度、県の重点施策事業として、『**青森県がん性疼痛評価手法普及事業**』が始まります。

これは SPARCS の取り組みを県内へ普及することを目指しております。地域や医療機関の痛みの評価方法が統一されることは、患者・家族の苦痛軽減につながっていきます。一方、**平成26年1月10日付厚生労働省健康局長通知「がん診療連携拠点病院等の整備について」**において、**指定要件の一つに「がん患者の身体的・精神的、社会的苦痛等のスクリーニングを診断時から外来及び病棟にて行うこと」**が追加されました。2012年2月15日から全国に先駆けて行ってきた痛みの聞き取りが、**今後は県内、全国で展開されていくこととなります。**

★★★皆様方の痛みへの取り組みが、これからのがん疼痛治療を動かすきっかけになっていきます★★★

『患者さんの痛みを適切に反映している
かレビューしています』

2013.4.1～2014.3.31 に痛みの聞き取りを行った延べ 22,165 名(実数 1,407 名)の患者を対象に、痛みの強さと日常生活障害の有無との関連について検討いたしました。その結果、「平均の痛み」が強くなるほど日常生活が障害されていると回答する患者数が比例し増えていることから最も適切な質問方法であること(図1参照)、**NRS0～3の弱い痛みの患者でも日常生活に支障があると3割の方が回答していることが明らかになりました。**弱い痛みであるにも関わらず日常生活に障害があると回答した患者がなぜ3割いるのか、**困っていることに「痛み以外の影響」が反映されている可能性もあります。**

今後、当院での痛みの聞き取りが地域や県外で広く使われるため、これまでの蓄積されたデータを見直しております。

もう少しこんな質問にしてみたらなど意見がございましたら緩和ケアチームに遠慮なくお声かけください。皆様方が日々の臨床で感じた貴重な体験をぜひ参考にさせていただきたいと思っております。

『前習いの聞き取りをしていませんか、
NRS0の解釈は正しいですか』

連日痛みの評価が同じ場合や『前日と同じでいいです』と答える看護師が多くみられます。また、写真1や写真2にみられるように、『**体動時の痛みあり**』の患者のNRSが0と回答する矛盾した聞き取りもありました。NRS0と答える痛みの評価が適切なものか、もう一度見直していただけるようお願いいたします。

安静時に痛みが強いのに、体動時のNRSが「0」になっています。

<写真1>

6 今の痛みは数字でいくつですか？	NRS(0 /10) VRS	NRS(/10) VRS	NRS(0 /10) VRS
7 だまっている(休んでいる)時の一番強い痛みはいくつですか？それはどこですか？他にだまっている時も痛い場所は	NRS(6 /10) VRS (1)(2)(3)(4)(5)	NRS(/10) VRS	NRS(6 /10) VRS (1)(2)(3)(4)(5)
8 何かしたときに痛くなったり痛みが強くなりますか？	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
9 それはどこですか？	(1)(2)(3)(4)(5)	()	(1)(2)(3)(4)(5)
10 痛みはいくつになりますか？	NRS(0 /10) VRS	NRS(/10) VRS	NRS(0 /10) VRS
11 1日の痛みの平均はだいたいいくつくらいですか？	NRS(0 ~2 /10) VRS	NRS(/10) VRS	NRS(0 ~2 /10) VRS

<写真2>

6 今の痛みは数字でいくつですか？	NRS(0 /10) VRS
7 だまっている(休んでいる)時の一番強い痛みはいくつですか？それはどこですか？他にだまっている時も痛い場所は	NRS(0 /10) VRS ()
8 何かしたときに痛くなったり痛みが強くなりますか？	はい いいえ
9 それはどこですか？	(1/2)
10 痛みはいくつになりますか？	NRS(0 /10) VRS
11 1日の痛みの平均はだいたいいくつくらいですか？	NRS(8 /10) VRS

1日の平均の痛みが強いのに、安静時、体動時のNRSが「0」になっています。



<図1>

